

4 ²⁰¹⁷ April	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September	10 October	11 November	12 December	1 ²⁰¹⁸ January	2 February	3 March
第77回特別展 「まゆクラフトと絹の作品展」 ▶ 4/9 ㊿	第38回企画展 「日本の美・きらめき ～パッチワークキルト 三作家展～」  (左から)小尾節子「愛と平和への思いをこめたキルト」、宮谷真知子「万葉クレイジー」、吉田サチ子「Good Morning」 4/14 ㊿▶ 5/29 ㊿ 国内外で活躍している3人のキルト作家、小尾節子さん・宮谷真知子さん・吉田サチ子さんが制作した、絹の着物の裂などの「日本の布」を使ったパッチワークキルトの作品を展示します。三者三様の個性がきらめく作品をお楽しみください。	第39回企画展 「能装束でみる 群馬の能」  「金地鳳凰枝垂桜文様唐織」藤波家所蔵 6/3 ㊿▶ 7/10 ㊿ 能は、室町時代に観阿弥、息子の世阿弥によって大成され、600年以上受け継がれてきた日本が誇る舞台芸術です。県内の能に関する歴史をもとに、伝統の舞台を彩った絹が活躍する優雅な能装束などを紹介します。	第78回特別展 「夏休みこども展」 「学ぼうカイコ」  カイコは約1300メートルにおよぶ1本の糸を吐き続け繭を作りあげます。 7/15 ㊿▶ 8/28 ㊿ カイコの飼育量が全国一である群馬県、そんな群馬県にふさわしい施設として夏休みのこども達に、カイコの生態から飼育方法など、カイコのいろいろなお話を紹介します。	第79回特別展 「群馬のシルク アーティスト2人展 大竹夏紀・寺村サチコ」  (上から)大竹夏紀「繭に星 イエロー」、寺村サチコ「容赦ない目観め」 9/6 ㊿▶ 10/16 ㊿ 群馬県を代表する若手アーティスト、蠟けつ染めで独自のアイドル像を描く大竹夏紀さんと、絞り染めと型染めにより立体造形物を作製し、女性の持つ美しさやその裏に潜む毒を表現する寺村サチコさん、2人の作品を紹介します。	第40回企画展 「ちりめん創作人形展 あきいろさいじき ～秋彩歳時記～」  竹本京「伝統を着る」 10/21 ㊿▶ 12/11 ㊿ 高崎市在住の人形作家・竹本京さんの「秋」をテーマにした新作を中心に、人形の肌のちりめんや髪との毛の絹糸、衣装の着物の古裂など、「絹」という素材にこだわりを持って作られた人形を展示し、絹の魅力を紹介します。	第80回特別展 「まゆクラフトと 絹の作品展」  平成28年度の様子 12/16 ㊿▶ 2/12 ㊿ まゆの素材をいかした独創的なまゆクラフト作品とともに、工芸作家と日本絹の里友会の会員による作品を展示し、絹や繭の魅力を紹介します。	第81回特別展 「シルクの土俵入り ～相撲の世界と 絹織物～」  錦絵：相撲博物館所蔵 2/25 ㊿▶ 4/8 ㊿ 国技といわれ、日本固有の文化である「相撲」。十両以上の関取は取組用の絹の廻し「締め込み」を使うほか、華やかな「化粧廻し」、「行司装束」など、人々を魅了する相撲の世界を紹介します。				

イベント	夏休みこどもシルク教室 7月下旬▶8月下旬 小中学生を対象にした特別メニューで、染色・手織り・繭クラフトの体験教室を開催します。	日本絹の里大学 9月▶11月 シルクに関するさまざまな分野について、専門家がわかりやすく解説して楽しく学べるユニークな講座を開催します。	「群馬の絹」展 2/16 ㊿▶ 2/20 ㊿ 群馬の繭、生糸を使用した、和装品や洋装品、工芸品などの絹製品の展示と販売を行い、県民をはじめ、県内外の関係者、消費者に紹介して、「群馬の絹」を宣伝し、需要拡大に結びつけます。
------	---	---	---

体験学習




体験学習 (草木染、型染、絞り染、ろうけつ染、手織り、繭クラフト、和布細工、繭から織物までの体験セミナー、カイコの飼育体験学習講座、草木染による型染研究会) 各種体験学習を開催しています。詳しい日程はホームページまたは電話等でお気軽にお問い合わせください。


